

4 道路交通等の現況

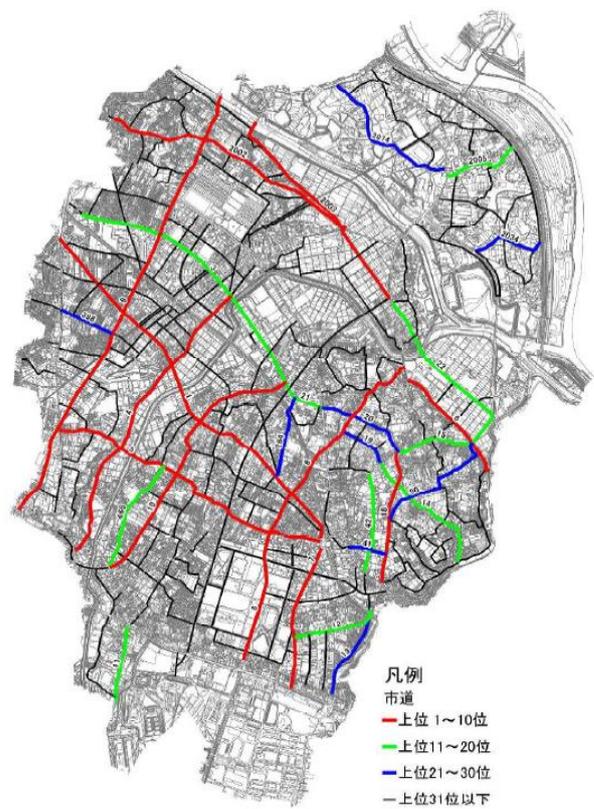
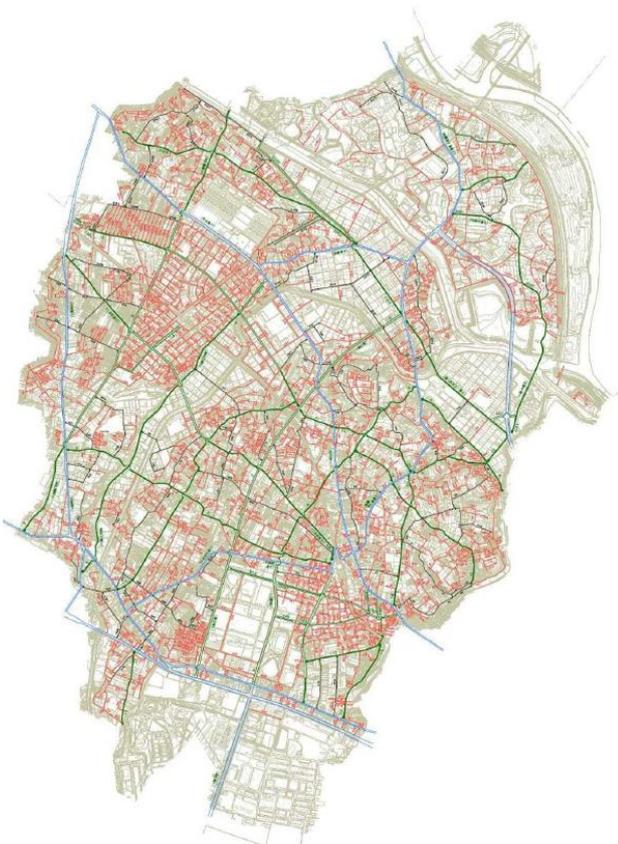
(1) 道路網

本市の南側に一般国道 254 号が通り、一般国道 254 号は東京都心と川越方面とを連絡しているほか、関越自動車道及び東京外かく環状道路とを結んでいる。また、現在一般国道 254 号の渋滞緩和と主要幹線道路へのアクセス強化による県南西部地域の発展を目指し、和光市内の東京外かく環状道路から朝霞市、志木市を経て富士見市に通じる一般国道 254 号和光富士見バイパスの整備が進められている。

本市は、令和元(2019)年度に、都市計画マスタープランに位置付けられた様々なまちづくり施策を計画的に進めることを目的に、道路整備の目標を定め、目指すべき道路網を構築し、道路整備を行う路線の選定及び整備の優先順位等を定め、これをもって市内各地域の利便性や安全性の向上に貢献する「道路整備基本計画」を策定した。

道路整備基本計画の目標

- ① [安全快適] 安全で快適な移動空間の確保
- ② [防災・減災] 防災・減災機能の強化
- ③ [活性化] まちのにぎわいの創出
- ④ [環境] 生活・交通環境に配慮した住みやすいまちの形成
- ⑤ [効率性] 効果的かつ効率的なみちづくり



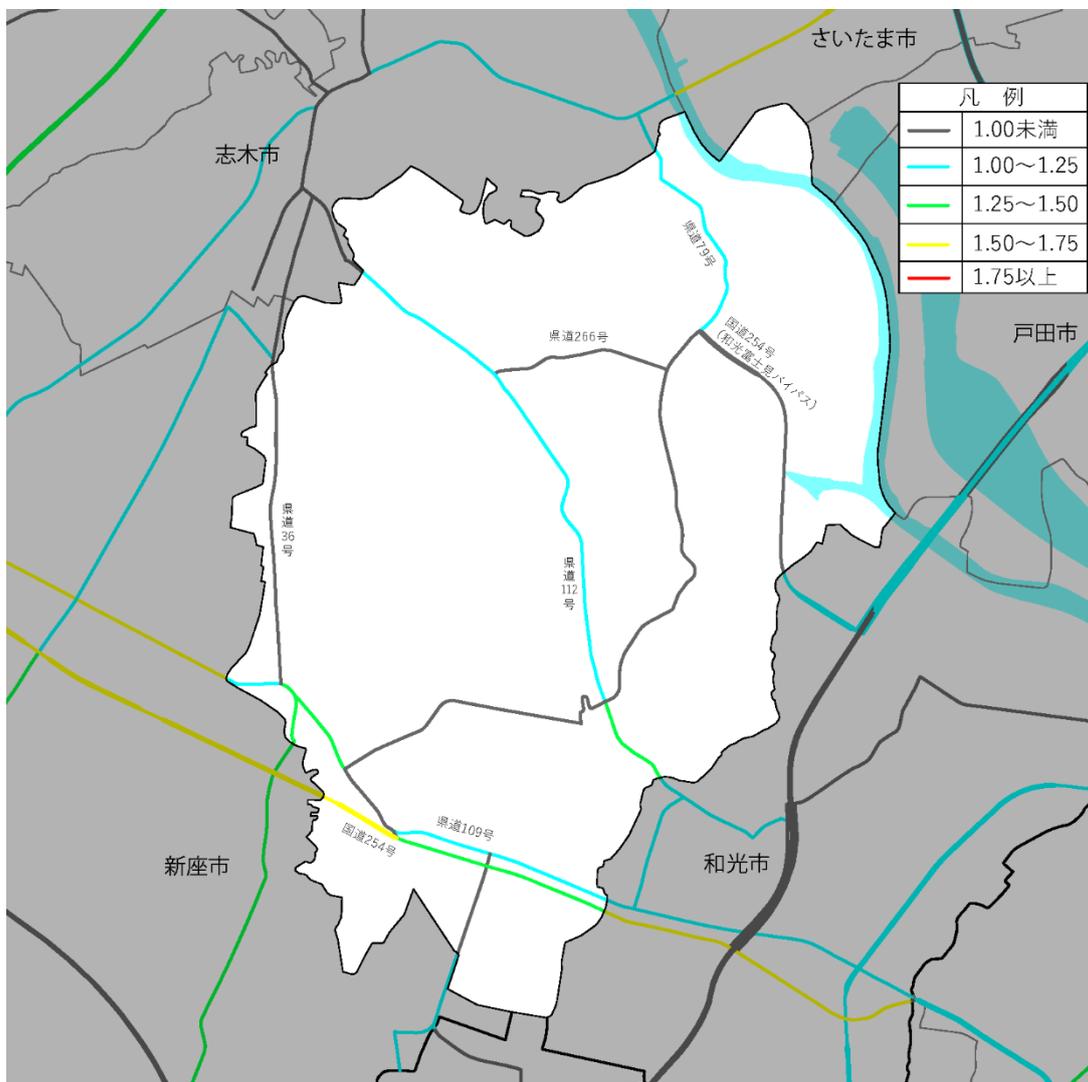
(出典：朝霞市道路整備基本計画(R1.5))

図 19 朝霞市道路網図

図 20 優先整備路線図

(2) 国道・県道の混雑状況

本市の国道・県道の道路混雑状況は、南側に位置する一般国道 254 号の混雑度が 1.50～1.75 で高くなっている。本市内の中央を通る一般県道和光志木線や主要地方道県道朝霞蕨線の北側は混雑度が 1.00～1.25 となっている。



(出典：平成 27 年度道路交通センサス※)

図 21 国道・県道の混雑状況図

表 4 道路混雑度の評価

混雑度	交通状況の推定		
	飽和時間	交通量／道路容量	状 況
1.0未満	なし	1以下	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25未満	1～2時間以下	ほとんどの区間で1以下	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時間）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75未満	0～12時間	1以上の時間が10～15%	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
1.75以上	ほとんどの時間	1以上の時間が50%を超える	慢性的混雑状態を呈する。

(出典：道路の交通容量 (昭和 59 年社団法人日本道路協会))

(3) 市道の混雑状況

市道の混雑状況については、現在有効なデータを保有していないため、今後交通系ビッグデータ等の進展状況（オープンデータ化等）を踏まえ、活用を検討する。

(4) 都市計画道路の整備状況

本市の都市計画道路は、平成 30(2018)年 9 月時点で 15 路線、総延長 25,115m が計画決定されており、そのうち整備済延長は令和 2(2020)年 10 月時点で 13,575m、整備率は約 54%となっている。

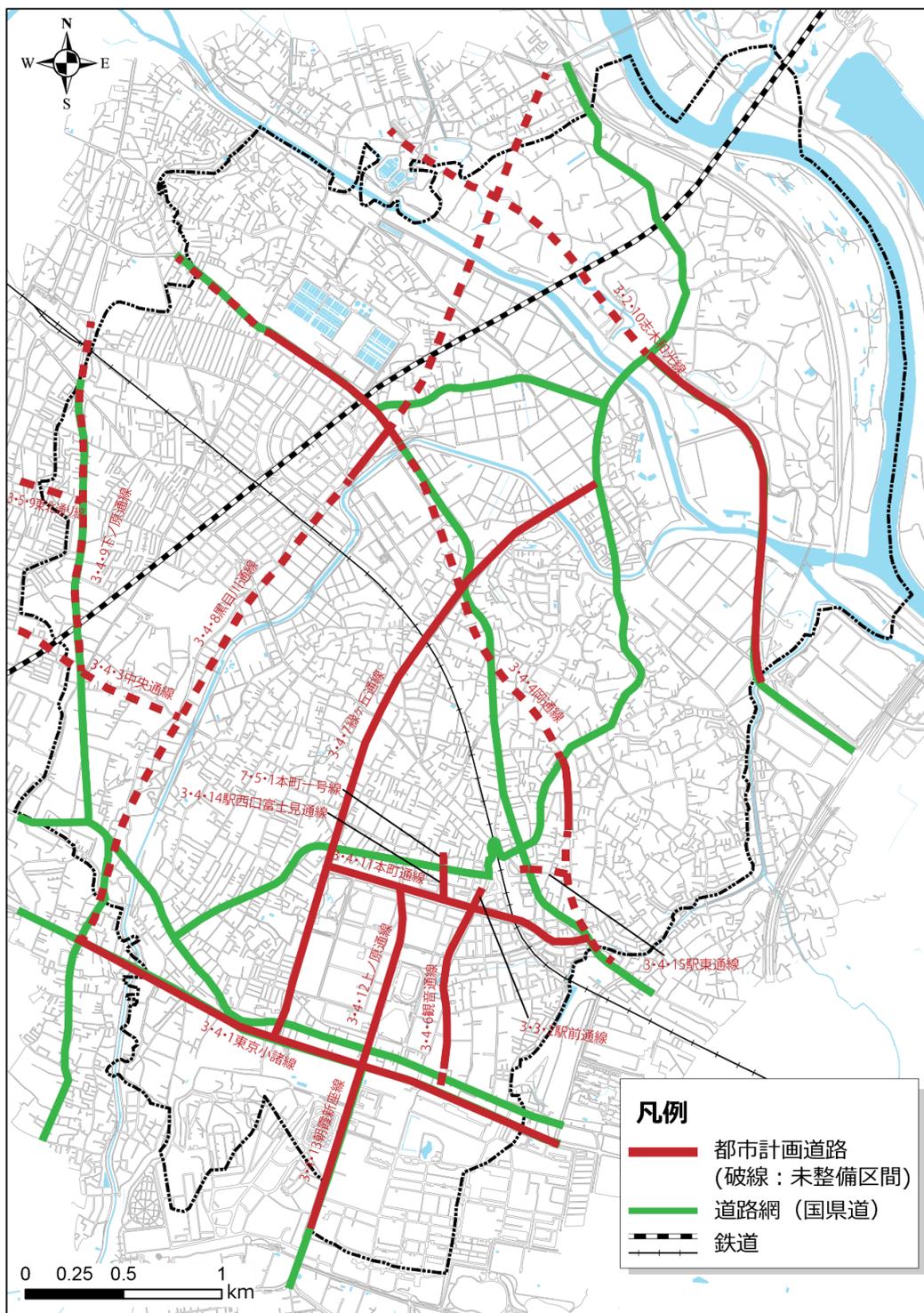


図 22 都市計画道路の整備状況図